

広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	「……である。」ということばを使って、作文することの抵抗とその発想の歪み
Author(s)	清水, 駿
Citation	児童の言語生態研究 , 4 : 18 - 32
Issue Date	1970-12-15
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045047
Right	
Relation	



「……である。」

ということばを使って、
作文することの抵抗と
その発想の歪み

— 清水 駿 —

〔実験校〕神奈川・清新小学校

〔実験対象〕1年～6年 195名

問題意識

子ども達は、えんぴつを動かす以前の、「書くということ」に対してどのように意識し、つかみ取っているのだろうか。

この「……である。」ということばを使って子ども達が、「書くということ」を思考構成していくとき、どうかかわり合ってつかんでいるのだろうか。

子ども達に指示したこと

子ども達に、「……である。」を使って作文してくれるように指示した。ふつう、「……です。」と使っているようなところを「……である。」と。「……でした。」と使っているところを、「……であった。」と使ってくれるように。と。

集まった作文の中から、各学年一名ずつ挙げてみると、つぎのようである。

一年 MI(男)

ぼくは、おんがくかいの、れんしゅうのときしばいをした。そのしっぱいは、ふざけっこであった。
ゆうちゃんと、ぼくと、たかだくと、ふざけっこをした。

二年 KS (男)
ぼくは人間である。
なのに、ぶたとか、ささのほと、みんながいう。
ぼくはかんがえた。ささのはは、みょうじからつ
けられたあだなんだ。ぶたというあだなは、わ
からなかった。でも、いまはわかる。ぼくが、ぶ
とっているからであった。

三年 HA (女)
きょう、みねおかのおばちゃんと、ラツキーが、
きたのである。わたしは、とてもおどろいたので
ある。父や母は、とても犬が好きなのに、わたし
たちきょうだいは、すきになれないのである。

四年 HK (女)
わたしの友だちは、十人ぐらいである。
いちばんの友だちは、ゆみほで、気がすごくあう
のである。
わたしは、ゆみほと、いえが、とおいので、がっ
こうをかえってからは、いっしょにあそべないの
である。よくあそぶのは、ことうどうでかくれんぼ
をするときである。

五年 MK (女)
私は、今だに班長である。
一度やめようと思ったのである。しかし、みんな
は、それを受け入れようとしなかったのである。
つまり、私の気持ち、わかんないのである。た
った、二十五分間の間が、長く、長く、感じるの
である。そのくせ、そうじは、終わらないのであ
った。

六年 MS (男)
スポーツとは何なのであろう。それは人類発展の
ために、たいへん必要なものである。それは、ス
ポーツをやれば、どんな人間でも、人が持つ、い
ろいろな能力が発達するからである。

まず、集まった一年生から六年生までの一九五名の
作文から、
○「：」である。「体を使っているもの。
○「：」である。「体を使っているもの。
○使おうとしているがうまく使えていないもの。
を区別した。(表ア)

表ア

調査人数	「：」である「体を使っている人数	「：」である「体を使おうとしていない人数	「：」である「体を全く使っていない人数
37	3	0	34
29	18	6	5
35	24	3	8
32	21	0	11
34	30	4	0
29	29	0	0
195	125	13	58
合計			

表アからわかることは、一年生では、三七名中三四
名が使っていないが、二年生で急に使えていること
である。
四年生は一名が「：」である「体を使っていないが
不完全に使っているのは一例もないということである。

五年生、六年生では、「：」である。「体を全然使
ていないのは一名もなかった。つまり五年生では、不
完全に使っているものもあるが、六年生では、全員使
ているということである。
今回は「：」である。「体を使って書いているものに
焦点を合わせて考えることにした。
そこで、「：」である。「：」であった。」で書かれ
たところを全文から全て抽出した。

○「：」である。「体を使っている総数三八六例であった。
○「：」であった。」を使っている総数一一四例であ
った。
○「：」であらう。「は、五年生と六年生で三四例であ
った。
○その他八例。
○合計五四二例であった。

つぎに、「：」である。「：」であった。「：」であ
らう。」を使っている全てを、学年別にならべてみた。
それを一覧表にしてみた。(表1・2・3)
(表1) 「：」である 三八六例

分類	1年	2年	3年	4年	5年	6年	Na
① 人間活動—精神および ② 生産物および用具物品 ③ 抽象的關係	2	1	1	1	1	1	7
④ 個有名詞		1	2	1	1	1	6
⑤ 人間活動の主体		1	1	1	1	1	5
⑥ 自然および自然現象		3	1	2	2	2	10
⑦ 抽象的關係		1	3	1	1	1	7
⑧ 其他間投および表現態度			1	1	3	2	7
⑨ 抽象的關係				1	3	2	6

No 57の「どちらかである。」(択一)の五種類は、五年で一例ずつ出ている。

No 58の「なかったのである。」

No 59の「(受身)である。」

No 60の「ならないのである。」という義務を表わしている。これらは、五年、六年でだけ出ている。

No 61の「ものである。」

No 62の「ということである。」という伝聞。

No 63の「などである。」という概括。

No 64の「もそうである。」

No 65の「かもしれないということである。」という認定説明は、五年までは全然出ておらず、最高学年の六年で初めて出ているのである。

○種類に分類できた。
方法は、まずNo 13からNo 30までを選び出し、残りは分類語彙表により分類しておいた。

一年で出ているのは「ふざけっこであった。」という一例だけであった。
No 13の「ままであった。」という限定。
No 14の「ことであった。」という特記。
No 15の「というのである。」

の三種類は二年だけで出ている。
No 16の「からであった。」の理由
No 17の「たいのであった。」の希望
No 18の「思うのであった。」

の三種類は、二年、三年で各一例ずつ出ている。
No 19の「ないのであった。」
No 20の「するのであった。」

は二年と五年で出ている。

No 21の、数、番、時を表わしているのは、二年から五年まで出ている。

No 22の「いるのであった。」は二年で四例も出ている。

No 23の「思ったのであった。」

No 24の「ようであった。」

No 25の「ほどであった。」

No 26の「きたのであった。」

No 27の「ときであった。」という特記

の五種類は、一年、二年では全く出ておらず三年から出ている。

No 28の「ぐらいであった。」という概括は四年で、

No 29の「ところであった。」という場面は五年で、

No 30の「ということであった。」という伝聞は六年でだけ出ているのである。

表3 からは、一年から四年までは、全然出ておらず、五年で初めて二例でており、六年では三二例出ているのである。高学年でだけ未来形が出てきているのであった。

その他 つぎのようなのを、どう分類したらいいのかわ、そのまま示してみる。

二年 MK(女) 他二名
朝である。ひるである。よるである。うわぎである。かばんである。黒ぼんである。冬である。春である。夏である。秋である。二かいである。かいだんである。みちである。人にであった。町であった。……

三年 JK(男)
……ぼくが、コロの、頭上に、ゆびを、うごかすと、えいがで、見た、チキタの、おどりがたのようだったのであった。

五年 HK(男)
ぼくは、人間でもあるし、犬としてもある。それに、ぼくは、赤ちゃんであった。それにぶである。それに運動ぶそくである。それにぼくは弱虫である。それにぼくはブタである。それにストーブでもある。ぼくはつくえである。ぼくは大きい石である。……

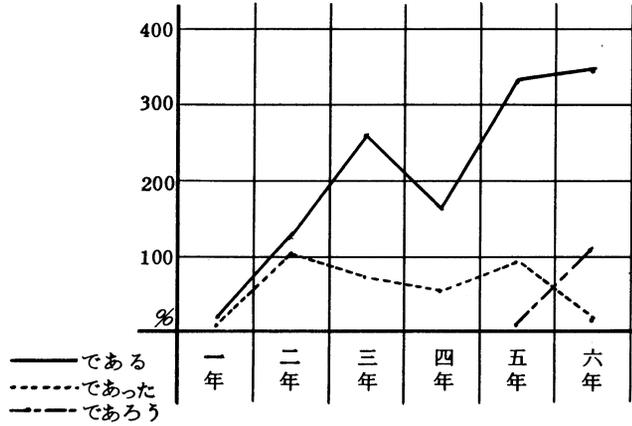
つぎに、学年によって調査人数がちがうので「……である。」「……であった。」「……であろう。」をどのくらい使っているか、学年の調査人数に対する割合を出した。(表イ)

(表イ)

あろう	……で あった	ある ……で	……で
0	37人中 1例 2.7%	37人中 4例 11%	一年
0	29人中 30例 103%	29人中 36例 124%	二年
0	35人中 26例 71%	35人中 87例 248%	三年
0	32人中 19例 59%	32人中 52例 163%	四年
34人中 2例 6%	34人中 33例 97%	34人中 109例 326%	五年
29人中 32例 110%	29人中 5例 17%	29人中 99例 341%	六年

これをグラフにしたらつぎのようになった。

学年の調査人数に対する
学年例総数の割合



表イとグラフから

「:である。」という現在形は、一年二年三年と増
加していき、四年で減少し、五年六年で増している。
「:であった。」という過去形は二年が一番多く、
三年四年で減少し、五年で増し、六年では減少してい
る。

「:であろう。」という未来形は、一年から四年ま
では、全く出ず、五年、六年に現われている。

最後に、抽出した全ての五四二例を、現在形、過去
形、未来形に分け、学年別にならべたもの(表A)は
つぎのようであった。

(表A)

:である

1 ④ 人間活動・精神および行為

学年

- 1 おんがくかいである。
- 1 はなしである
- 3 たいいくである
- 3 しゃかいである
- 3 すきなかもくである
- 3 ひるやすみである
- 3 あらそいである
- 5 たん気である
- 5 まんがである
- 5 ゆめである
- 6 不安である
- 6 そんなである
- 6 たのしみである
- 6 心である

2 学年

④ 生産物および用具物品

- 2 おもちゃである
- 3 わたしの家の車である

3 ④ 抽象的關係

学年

- 2 やはりだめである
- 3 かんたんである
- 6 ひつようである

4 ④ 個有名詞

学年

- 2 えみ子ちゃんである
- 3 ペケである
- 3 いいじま先生である
- 4 片柳君である
- 4 土屋君である
- 4 真田さんである
- 4 栗本君である
- 6 林さんである

5 ④ 人間活動の主体

学年

- 2 アパートである
- 2 おんがくの先生である
- 2 おかあさんである
- 2 ことし学校である
- 2 ぼくは人間である
- 2 ともだちである
- 3 赤ちゃんである
- 5 弱虫である
- 5 はん長である
- 5 人間である
- 6 皇帝である

6 国である

6 ㊦ 自然および自然現象

学年

2 さんしきすみれである

3 かわいい鳥である

3 こうはくである

3 犬である

5 犬である

6 朝つゆである

6 命である

7 ㊦ 抽象的關係

学年

2 となりのせきである

2 うしろのせきである

2 たんじょう日である

4 グループである

5 終である

5 かじのもとである

5 運動ぶそくである

6 春である

6 最近である

6 にんき者である

8 ㊦ 間投および表現態度

学年

3 さびしくなるだからいやである

4 いやである

例 2

9 ㊦ 抽象的關係

学年

5 しめつきりである

10 ㊦ 自然現象

学年

5 でぶである

11 ㊦ 精神および行為

学年

5 ふしぎである

5 きらくである

6 なまいきである

12 ㊦ 精神および行為

学年

2 じてんしゃであそんだのである

2 がりがりかじるのである

3 すぐにないのである

3 星のくんをよんだのである

3 もっているなといったのである

3 ゆびさをなめたのである

3 とてもおどろいたのである

4 ぶりぶりおこるのである

4 あげなさいというのである

4 気があうのである

4 おりてやるのである

5 おいでというのである

5 わすれるのである

5 がんばるのである

5 うまいからかうのである

5 かいてくれるのである

5 わたしがもらったのである

5 ごちそうしてくれたのである

5 やめようと思ったのである

5 まんがをよんだのである

5 ゆめを見たのである

5 手をはなしたのである

5 所へいったのである

5 いるかと聞くのである

5 となるのである

5 たべるのである

5 困るのである

5 感じるのである

6 おこるのである

6 どうしようと考えるのである

6 まくがとじるのである

6 意味がわかるのである

13 ㊦ 人間活動・精神および行為

学年

3 すきなのである

3 すきなのである

14 ㊦ 精神および行為

3 ドキドキしてこわいのである

3 見るだけでもかわいいのである

4 いちばんたのしいのである

4 おもしろかったのである

5 おもしろいのである

例 3

例 4

例 2

例 2

例 2

5 いやなのである

学年 15

㊦ 抽象的關係

3 トランプがよわいのである

3 一ばんいいのである

3 とても早いのである

4 まける方がおおいのである

3 ひくいのである

6 こおっていないかったのである

6 手がなかつたのである

学年 16

㊦ 抽象的關係(現在)

3 おしよがつつにたてるのである

3 よくとるのである

4 家にかえるのである

4 とおくへおくのである

4 六時につくのである

5 とまるのである

5 できるのである

5 ほろびるのである

5 かわっていくのである

6 しっぽがひっこむのである

学年 17

㊦ 抽象的關係(過去)

3 耳にいれたのである

3 いそいで走ったのである

3 つきゆびをしてしまったのである

3 二枚とったのである

3 くすりをつけたのである

3 こわそうに出てきたのである

3 とれるようになったのである

3 ばばがわたったのである

3 山にのぼったのである

3 ドライブにいったのである

4 イスにすわったのである

4 ねつをだしたのである

5 あけたのである

5 とまったのである

5 すぎたのである

5 ひろいところに出たのである

6 おなじなんだということに気がついたのである

6 友だちができたのである

6 車を山中湖にむけたのである

6 さかなをあつめたのである

6 つりにいったのである

6 出合ったのである

6 家についたのである

学年 18

㊦ 人間活動の主体

5 私なのである

学年 19

㊦ 自然現象

5 チョコレートはうまいのである

6 かわいいのである

6 美しいのである

学年 20

㊦ 自然現象

6 かがやくのである

学年 21

(数・順序・点・時間)である

1 一てんである

1 四てんである

6 第一である

6 一位である

2 六年生である

2 四年生である

6 四年生である

6 中学生である

2 四十六さいである

4 四才である

5 三十才である

3 七かげつである

3 六じかんである

学年 22

(場面) ところである

2 くれるところである

2 たのしいところである

3 シルバーボールというところである

3 27番のところである

学年 23

(特記) ことである

2 ふゆにおこったことである

24 ことばかりである (強調)

2 おもしろいことばかりである

25 までである (限定)

2 五時までである

26 なるのである

2 やかましくなるのである

2 静かになるのである

3 なかよくなるのである

3 なくなるのである

4 へいきになるのである

5 いたくなるのである

5 こわくなるのである

5 弱いからこうなるのである

27 子(妹)である

2 女の子である

2 女の子である

5 女の子である

4 じゃまする子である

3 かわいい子である

3 かわいい子である

4 かわいい子である

4 かわいい子である

4 かわいい妹である

4 女子である

28 いたのである

2 とびはねていたのである

3 しっぽをふっていたのである

5 考えていたのである

29 といのである

2 のり子というのである

3 のぶ子というのである

6 根性というのである

30 いるのである

2 先生をしているのである

2 はたらいているのである

3 えいじという子がいるのである

4 やすんでいるのである

4 思っているのである

5 たべてくれているのである

5 まわされてばかりいるのである

5 人もいるのである

5 子もいるのである

5 あきがきているのである

5 おしえているのである

5 ぬっているのである

6 ならうとしているのである

6 思っているのである

6 なっているのである

6 まんぞくしているのである

6 やっているのである

6 覚えているのである

6 もっているのである

31 (しまうた)である

2 けんかをしてしまうのである

3 死んでしまうのである

3 はいってしまうのである

4 けんかになつてしまうのである

4 ねてしまったのである

5 くいこんでしまうのである

6 ねてしまうのである

6 ないてしまうのである

6 しまつたのである

32 ないのである

2 わすれたことがないのである

3 すきになれないのである

3 かわいそうでたまらないのである

3 ぼくはつまらないのである

4 あそべないのである

5 きえないのである

5 たべないのである

5 かんじないのである

5 おわらないのである

5 わかんないのである

5 きこえないのである

例 2

- 6 きかないのである
- 6 人間らしくないのである
- 6 きめていないのである
- 6 きにくわないのである

33 したのである

学年

- 2 まくようにしたのである
- 3 ホールなげをしたのである
- 3 パパぬきをしたのである
- 4 たびをしたのである
- 4 大わらいをしたのである
- 5 注しやをしたのである
- 5 ごはんをしたのである
- 5 かいものをしたのである
- 6 しあいをしたのである

34 するのである

学年

- 2 なかなおりにするのである
- 3 なめようとするのである
- 3 ひりひりするのである
- 4 さんぼするのである
- 4 するのである
- 5 入院するのである
- 5 がっかりするのである
- 5 空の旅をするのである
- 5 なかよくするのである
- 5 すっきりするのである
- 5 けんかをしたりするのである
- 6 くつついたりするのである

- 6 向上するのである

35 からである (理由)

学年

- 2 ねじをまきわすれたからである
- 2 ふとっているからである
- 2 おこしてくれるからである
- 3 やさしすぎるからである
- 3 あるからである
- 3 思うからである
- 3 うそをつくからである
- 3 なくなつたからである
- 3 さびしくなるからいやである
- 4 にげられるからである
- 5 おなじだからである
- 5 いたからである
- 6 発達するからである

36 おもうのである

学年

- 2 なかよくしようと思うのである
- 3 あげようと思うのである
- 3 つくづく思うのである
- 5 つくづく思うのである
- 6 ならないと思うのである
- 6 私は思うのである
- 6 必要ないと思うのである
- 6 小学生でいたいと思うのである
- 6 いいのではないかと思うのである
- 6 いいと思うのである
- 6 ぴったりではないかと思うのである

- 6 できなくなると思うのである

37 たいのである (希望)

学年

- 3 ラツキーになりたいのである
- 6 見たいのである

38 そのほかである

学年

- 3 みかんそのほかである

39 きたのである

学年

- 3 おいけてきたのである
- 3 もつてきたのである
- 5 しびれてきたのである
- 5 見にきたのである

40 のことである (特記)

学年

- 3 いぬのことである
- 6 試合のことである
- 6 会場のことである

41 つもりである (予測・意志)

学年

- 3 あげるつもりである
- 6 やりとおすつもりである
- 6 やってみるつもりである

42 学年 くるのである

3 すぐぶつかってくるのである

3 出てくるのである

5 やってくるのである

5 買いに行くのである

5 来るのである

5 出てくるのである

6 でてくるのである

43 学年 すき・きらいである

3 すきである

4 大すきである

5 すきである

6 すきである

6 きらいである

6 きらいである

44 学年 という子(名・人)である

3 ペケという名である

3 おさむという子である

3 なかのりという人である

4 真田さんという人である

5 ごとうさんという人である

45 学年 あったのである

4 えいがあったのである

4 あったのである

46 学年 しまったのである

4 ねてしまったのである

47 学年 人である

4 黒い人である

4 ほったの赤い人である

4 たよりのない人である

48 学年 かもしれないのである (認定説明)

5 ふしぎな人である

5 つよい人である

49 学年 ようである

4 なれたようである

5 とびかかってくるようである

50 学年 ときである (特記)

4 するときである

6 学校にいくときである

51 学年 ぐらいである (概括)

4 十人ぐらいである

6 千五百個ぐらいである

6 なるるぐらいである

52 学年 いくのである

4 ぼくがいくのである

6 おたまじゃくしになっていくのである

53 学年 せるのである (使役)

6 つからせるのである

54 学年 なくてはならないのである

5 わたしでなくてはならないのである

55 学年 ようなかんじである

5 へんなようなかんじである

56 学年 はずである (当為)

5 ほかのものでもいいはずである

57 どちらかである

5 昔のようになるかどうかである

58 なったのである

59 学年

5 すぎになったのである

5 うまくなったのである

6 結果になったのである

6 かなしませる場となったのである

59 (受身) のである

60 学年

5 うたれたのである

5 いただいたのである

6 されるのである

60 ならないのである (義務)

61 学年

5 すまなくてはならないのである

6 つかまえないければならないのである

61 ものである

62 学年

6 かぎられているものである

6 大切なものである

6 ひつようなものである

6 味気ないものである

6 いきたいものである

6 見学したいものである

62 ということである (伝聞)

63 学年

6 なったということである

6 きびしいということである

63 などである (概括)

64 学年

6 かえるなどである

64 もそうである

65 学年

6 バスケツトもそうである

65 かもしれないということである (認定説明)

66 学年

6 できるかもしれないということである

1 精神および行為

1 学年

1 ふざけっこであった

2 買ったのであった

2 すぐなのであった

2 ふざけるのであった

3 のんだのであった

3 まけるのであった

3 やったのであった

3 やるのであった

3 買ったのであった

4 あそぶのであった

5 たのむのであった

5 しなかつたのであった

5 やったのであった

5 さめたのであった

5 きめたのであった

6 もらったのであった

6 さげぶのであった

2 抽象的關係

2 学年

2 だいじょうぶであった

3 弱いのであった

4 いいのであった

5 はじめてだったのであった

6 はじめてであった

3 自然的關係

3 学年

2 あせっかきであった

4 人間活動—精神および行為

4 学年

2 社会の本であった

2 またまけであった

3 大すきであった

3 音楽であった

- 3 おまつりであった
- 4 スケートであった
- 4 かまくらであった

例 2

5 ㊦ 生産物および用具物品

- 2 ふじやのケーキであった
- 2 つよいひこうきであった
- 5 紙であった

6 ㊦ 抽象的關係

- 2 できなかったんであった
- 3 いったのであった
- 3 起きたのであった
- 3 くるのであった
- 4 なくなつたのであった
- 4 だしたのであった
- 5 言いくいのであった
- 5 あきがきているのであった
- 5 てたのであった
- 5 すぎたのであった
- 5 行つたのであった
- 5 まるめたのであった
- 5 行つたのであった
- 5 毛をきってしまったのであった

7 ㊦ 人間活動の主体

- 2 あかちゃんであった
- 2 ともだちであった

- 3 かわいい子であった
- 3 いたずらをする子であった
- 2 人間であった
- 5 赤ちゃんであった

8 ㊦ 精神および行為

- 3 かわいそうであった
- 5 へいきであった

9 ㊦ 抽象的關係

- 3 上げる日であった
- 4 ふとんの中であった
- 4 冬であった
- 4 わたしはAであった
- 5 おわつたのであった
- 5 ゆうせいであった
- 5 おどり上つたのであった
- 5 できごとであった

10 ㊦ 個有名詞

- 4 チキタであった

11 ㊦ 自然物および自然現象

- 5 するようなかっこうであった

12 ㊦ 自然現象

- 5 きれいであった

13 ㊦ までであった

- 2 十時までであった

14 ㊦ ことであった

- 2 ある朝のことであった

15 ㊦ といふのであった

- 2 けんごといふのであった
- 2 のり子といふのであった

16 ㊦ からであった

- 2 ふとっているからであった
- 3 思うからであった

17 ㊦ たいのであった

- 2 べんきょうかになりたいのであった
- 3 強くなりたいのであった

18 ㊦ 思ふのであった

- 2 おもうのであった

3 思うのであった

19 学 ないのであった

2 もらえないのであった

2 すぐないのであった

2 しらないのであった

2 いれられないのであった

5 終らないのであった

5 はなさないのであった

20 学 するのであった

2 しいんとするのであった

5 すつきりするのであった

5 するのであった

21 学 (数・順・時) であった

2 十六であった

3 二番であった

2 五時間であった

4 三週であった

5 へやが五つであった

22 学 いるのであった

2 おそうじをしているのであった

2 しているのであった

2 よんでいるのであった

2 やっているのであった

5 ぬっているのであった

6 見ているのであった

23 学 思ったのであった

3 思ったのであった

4 思ったのであった

4 思ったのであった

24 学 ようであった

3 夏のようであった

25 学 ほどであった

3 動きができないほどであった

26 学 きたのであった

3 きたのであった

3 かえってきたのであった

27 学 ときであった

3 いっていたときであった

4 あそんだときであった

4 つくったときであった

6 いけないときであった

28 学 ぐらいであった

4 一時間半ぐらいであった

5 十三わぐらいであった

29 学 ところであった

5 まけるところであった

30 学 ということであった

6 いてしまったということであった

であらう

1 学 (⊕) 精神および行為

5 くらすであらう

2 学 (⊕) 抽象的關係

6 何であらう

3 学 (⊕) 自然現象

6 たまごからかえるであらう

4 学 するであらう

5 なったりするであらう

5 学年
ないであろう

6 おいこさなければぬけないであろう

6 わからないであろう

6 たいしたことはないであろう

6 金はかからないであろう

6 学年
くれるであろう

6 大きな力をあたえてくれるであろう

6 やってくれるであろう

6 きらわれる方であろう

例 2

7 学年
いるであろう

6 信じているのであろう

6 少なくともいるであろう

6 のぞんでいるのであろう

8 学年
できる(の)であろう

6 すばらしいことができたのであろう

6 なんでもできるであろう

6 根性ができるのであろう

9 学年
思うであろう

6 思うであろう

6 やかましく思うであろう

10 学年
あろうか

6 燃え続けるのであろうか

6 またその外はなんであらうか

11 学年
しまうであろう

6 まよってしまうであろう

12 学年
なるであろう

6 力になるであろう

13 学年
よいであろう

6 いったいよいであろう

14 学年
ほうであろう

6 きらわれる方であろう

15 学年
ところであろう

6 人生の大切なところであろう

16 学年
ことであろう

6 考えていることであろう

17 学年
ものであろう

6 スポーツとはすばらしいものであろう

18 学年
くらいであろう

6 半分くらいであろう

19 学年
できたであろう

6 すばらしいことができたであろう

20 学年
れるのであろう

6 開かれるのであろう

21 学年
なのであろう

6 スポーツとは何なのであろう

22 学年
みたいであろう

6 行ってみたいであろう

その他

2 朝である・昼である・夜である

2 ストーブでないような気がするがあるのである

3 さむいのであるのか

3 おどりかたのようだったのであった

5 人間でもあるし犬どもでもある

5 われてしまったのだったのである